4年 ファイト三発コース

5　本時（6時間目）の学習指導

⑴　目標　・具体物での操作活動をしながら，2つの長方形を見つけ，既習の長方形の面積の公式を用いて複合図形の面積を正確に求めることができる。
・補助線を入れて図形を2つに分解するという方法が分かり，それを友達に説明することができる。

⑵　学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等　㊙課題解決能力　㊛見通し　㊓共感性
1　長方形の面積の公式を確認する。	つかむ	一番面積の広いチョコレートはどれでしょう。 カカオ　ホワイト　まっ茶 カカオは正方形の面積の公式で求められるね。 まっ茶は，長方形の面積の公式で求められそうだな。 ホワイトはかじられたみたいで，分からないな。	・興味をもって取り組ませるために，チョコレートの広さ比べをしようと呼びかける。 ・長方形と正方形の求積の復習をする。 ㊛長方形の面積を求める公式を板書し，2つの長方形を見つけてチョコレートの面積を求める学習をすることを知らせる。
2　複合図形の面積の求め方を話し合う。 ⑴　長方形を見つける。 ⑵　面積を求める。 ⑶　求め方を説明し合う。 ・ペアで。 ・全体で。	つくる 確かめる ふりかえる	２つの長方形をみつけて　の面積を求めよう。 ㋐ ＋ ㋑ ㋐ ここで切って２つの長方形を作ります。アは３×２で６㎠イは６×５で３０㎠なので合わせて３６㎠です。 ㋒ ＋ ㋓ ㋒ ㋓ ここで切って２つの長方形を作ります。ウは３×５で１５㎠エは３×７で２１㎠なので合わせて３６㎠です。	・一人一人にワークシートに記された操作用の図形を用意しておく。 ㊙長方形を作るためにどこを切ればよいか分かりやすくするために，切る前に切ろうと思うところに線を１本引くよう助言する。 ㊓見つけられている児童には，まだ見つけられていない児童にヒントを与えるよう，個別に助言する。 ㊙２つの長方形をどうすればよいか，問いかけ，それぞれの長方形の面積を計算して足せばよいことを確認する。 ・子どもから要求された長方形の辺の長さを提示する。 ㊓自分がした操作や計算を友達に説明したり友達から説明を聞いたりすることにより，２通りの分け方があることや，長方形に分けると面積の公式が使えるというよさに気付かせる。 ㊙２通りの分割方法の説明ができ，長方形の面積の公式を用いて正確に求められている児童に前で発表させる。また，もし補完方法が考えられている児童がいた場合にも前で発表させる。
3　まとめをする。	ふりかえる	長方形に分け，長方形の面積の公式にあてはめて考えると，いろいろな形の面積を求めることができるね。	㊐２つの長方形を見つけ，長方形の面積の公式を用いて複合図形の面積を正確に求めることができたか。 ・1 ㎠かじったチョコレートを提示し，これならどのようにして求めるか問いかけ，大きい長方形から小さい正方形を引く考え方もあることに気付かせる。